

セカンドインパクト!!



6頭組 (左から)

ミッドフィールド アイオーン ショール
江別市/中田 和孝氏 所有 母の父/ロイレーン ジョーダン ET

ノースドリーム メモリアル レニー
北広島市/岩田 政彦氏 所有 母の父/シツケマスターダブリュー ハイ メトロ ET

ミーンズパンチ アイオーン アリオ
本別町/幕内 由房氏 所有 母の父/カルプレットアイ H H チャンピオン ET

RSF プリリー CCM リーチア
音更町/佐藤 秀光氏 所有 母の父/ポーマツズ ホームステッド ET

ローマンヒル ビューティー プリビュア
江別市/有限会社 小林牧場 所有母の父/ロイレーン ジョーダン ET

TMF ティアナ ポス アイオーン
清水町/有限会社 田中牧場 所有 母の父/ポスサイド ルーベン ET

JP3H53584

ミッドフィールド CCM

アイオーン



TL/TV

セプテンバー ストーム

ルドルフ

マンデル

レイダー

●総合指数 +2,178 ●長命連産効果 +55,054円

●**決定得点 +2.53 全国第1位**

●乳器 +1.93 全国第3位



未来を拓く 次世代づくり

発行所: 社団法人 ジェネティクス北海道

発行人/松尾 誠之

平成24年1月15日号

Sire

サイア

Vol.392

1
月号



「放牧地にて」画: 富田 美穂

CONTENTS

- ② 新年のご挨拶・表紙作者紹介
- ③ お知らせ 家畜人工授精講習会開催要領
- ④ 現場レポート(乳) 江別市『有限会社小林牧場を訪ねて』
- ⑥ 現場レポート(肉) 共進会に魅せられて~上富良野町 篠原牧場~
- ⑧ 注目のカウファミリー 第4回 ホイツターファームス リードメイ ET
- ⑩ 交配相談実施農家レポート 瘡師牧場(芽室町)
- ⑫ 研究発表「乳牛繁殖カレンダーの有効活用」(NOSAI富良野)
- ⑭ インタビュー 繁殖カレンダーがもたらしたものは...
- ⑮ 種雄牛紹介(肉) H黒-212 桜大地・H黒-214 安幸福



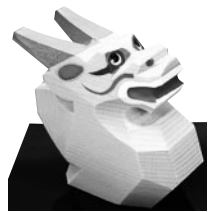
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F

〈業務部〉
TEL(011)242-9645 FAX(011)242-9651
TEL(011)242-9646 FAX(011)242-9647
●道北事業所...TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所...TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所...TEL(011)375-4422 FAX(011)375-2330
●十勝北見事業所...TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種雄牛センター...TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種雄牛センター...TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330

ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

謹賀新年

新年のご挨拶



社団法人 ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰

2012年の年頭にあたり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

乳肉用牛の改良増殖事業の推進にあたり、日頃より格別のご厚情を賜りまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

平成23年を振り返りますと3月11日の東日本大震災は想像を絶する超大規模災害となり、更にこれに追い打ちをかけるように福島第一原子力発電所の事故が発生しました。

これにより農畜産業にも多大な被害をもたらし、未だに収束に至らず大変厳しい状況が続いております。被災された皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

また、皆様先刻ご承知のとおり、T P P に関して昨年来、わが国農業に重大な影響が懸念されることから、我々農業関係者としても強く反対を表明してきましたが、「日本のT P P 交渉参加に向け関係国との協議に入る」との政府の姿勢は、日本農業の将来ビジョンを何ら示さないままの暴挙であります。

更には世界的にバター・チーズ・脱脂粉乳などの乳製品が、国際情勢の激変により不足している中、トウモロコシなど穀類も世界的に需給逼迫の動向となっております。

これらの影響を諸に受けて濃厚飼料の高止まりおよび原油高を背景にした各種資材の高騰により酪農・畜産経営は大変厳しい状況に直面しており、今後はより自給飼料基盤に立脚した経営が必要になってきております。

また、飲用乳の消費が減退している反面、バター・生クリーム・脱脂粉乳など乳製品の国内在庫も品薄状態になってきておりますが、酪農家の皆様のご努力により漸く生乳生産は徐々に回復の方向へ向かってきており、今後はしっかりと増産を継続して行く必要があります。

肉用牛においては、輸入牛肉の規制緩和や大手肉牛牧場の経営破たんにより、今後の肉牛生産に与える影響が大きいのではないかと危惧していますが、反面、北海道への期待が益々高まってきております。

そのような状況下における当団事業につきましては、国内の乳用牛後代検定事業より選抜された経済性の高い検定済種雄牛を活用していただき、受胎性の向上と共に乳牛の遺伝改良を図りながら酪農経営の向上に貢献して行くため、全道くまなく積極的に凍結精液の利用拡大の

ため各種事業展開を推進しております。

特に性選別精液による効率的な優良雌牛の生産拡大に取り組んでおりますが、今後一層、技術の安定と事業拡大に努力を重ねて行くつもりです。また、乳用牛群の改良促進のお手伝いとして推進しております交配相談事業は、関係団体機関のご指導とご協力の下で推進を継続しております。今後とも直接、酪農家の皆様と対話をしながら牛群改良促進のため一層力を入れて参りたいと考えておりますので、どうぞお気軽にご利用頂きますようお願い申し上げます。

黒毛和種については、道内関係者のご協力により計画どおり後代検定事業を推進することが出来、その中より全国的評価を得ている種雄牛『北平安』などが高い遺伝改良力を発揮しております。その後続く新たな種雄牛も出現してきております。北海道の黒毛和種生産者の皆様に地元の優秀な検定済種雄牛を安心して活用願える状況になって参りました。

これらひとえに酪農・肉牛経営生産者の皆様と関係者のご指導・ご協力の賜物と心から感謝いたしております。

本年も、酪農・肉牛経営向上のお役に立つため、役職員一同一丸となって努力を重ねて行く所存でございますので、引き続きご指導ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

表紙画作者紹介

今号より表紙画を北海道小清水町在住の富田美穂さんに描いて頂くことになりました。富田さんの作品は、自身のブログで紹介されていますので是非ご覧ください。



略歴 富田 美穂
1979年 東京都生まれ
2004年 武蔵野美術大学
造形学部油絵学科
版画コース卒業

2008年～北海道中標津町、佐伯農場荒川版画美術館にて、作品を展示。現在北海道小清水町で酪農ヘルパーをしながら牛の作品を制作中。

ブログ「うしのつむじ」
<http://usinotumuji.blog28.fc2.com/>

平成24年度 牛に係る家畜人工授精に関する講習会開催要領

牛に係る家畜人工授精師を養成するため、次により講習会を開催する。

1 講習会

- (1)開催者 : 社団法人ジェネティクス北海道
- (2)開催期日 : 平成24年5月14日(月)から同年6月7日(木)まで(日曜日を除く22日間)
- (3)場所 : 旧財団法人清水町農業振興公社施設
上川郡清水町字御影南2線77番地
- (4)受講資格 : 牛に係る家畜人工授精師の免許を取得しようとする者で、家畜改良増殖法第17条の規定(別記参照)に該当しない者。
- (5)受講人員 : 30名程度
- (6)選考方法 : 希望者が受講人員を上回った場合は、次により選考する。
ア 推薦 : 家畜人工授精事業を実施している農業協同組合又は農業共済組合等の職員であって、授精事業に従事する予定の者。
イ 一般 : 上記ア(推薦)以外の者については、書面審査及び選考試問を行なう。
・選考試問は、畜産に関する一般常識及び生物に関する筆記試験とする。
・生物に関する問題は、中、高等学校における生物の教科の範囲から出題する。
- (7)講習科目 : 家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間数。

2 修業試験 学科及び実習

- (1)日時 : 平成24年6月7日(木)及び8日(金)
- (2)場所 : 上記1の(3)に同じ

3 受講手続

次の書類を社団法人ジェネティクス北海道理事長に提出する。

- (1)推薦(1,(6),ア) : 受講願書(別記様式)、履歴書(市販様式に限る)及び推薦書
・推薦書は、受講理由を記載した所属組合長が発行する書面
- (2)場所(1,(6),イ) : 受講願書(別記様式)及び履歴書(市販様式に限る)
・履歴書に家畜人工授精師を志望する理由を明記すること
・選考試問の実施期日及び場所については別途本人に通知する
- (3)提出期限 : 平成24年3月15日(木)必着とする。

4 受講料

60,000円(宿泊費等を除く。納入については受講決定時に別途通知する。)

5 受講許可

受講許可又は不許可については、書面で本人に通知する。

6 その他

- (1)宿泊は、各自が旅館等に申し込むこと。なお、車中又はテント内で宿泊する者は受講を認めない。
- (2)提出された書類は返却しない。
- (3)受講願書等の送付先及び講習会についての問い合わせ先は次のとおり。

社団法人ジェネティクス北海道・生産部
060-0004札幌市中央区北4条西1丁目1北農ビル
(Tel 011-242-9644 Fax 011-242-9651)

[日本工業規格A4]

受 講 願 書

平成 年 月 日

社団法人ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰 様

所 属

本籍地 (都道府県名)

現住所

氏 名 印

昭和・平成 年 月 日生

牛に係る家畜人工授精に関する講習会を受講したいので、関係書類を添えて提出します。

家畜改良増殖法第17条の規定(家畜人工授精師の免許を与えない場合)

- 第17条 成年被後見人又は被保佐人には、前条第1項の免許(注1)を与えない。
- 2. 次の各号のいずれかに該当する者には、前条第1項の免許(注1)を与えないことができる。
 - (1)心身の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うことができない者として農林水産省令(注2)で定めるもの
 - (2)麻薬又は大麻の中毒者
 - (3)家畜伝染病予防法、種畜法、薬事法、獣医師法、獣医療法もしくは家畜商法又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反し、罰金以上の刑に処せられた者
 - (4)この法律(注3)又はこの法律に基づく命令の規定に違反した者

注1:家畜人工授精師の免許

注2:農林水産省令(家畜改良増殖法施行規則第26条の2)

- (1)視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能又は精神の機能の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- (2)上肢の機能の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うに当たって必要な技能を十分に発揮することができない者

注3:家畜改良増殖法

江別市 『有限会社小林牧場を訪ねて』

寒さの訪れとともに、北海道は長い冬が到来致しました。
今回は、改良に取り組む一方で、地域環境にも配慮した都市近郊型酪農を行っている有限会社小林牧場を訪問させて頂きましたのでその一部をご紹介します。

牧場の概要

有限会社小林牧場のある江別市は石狩平野の中央に位置し、札幌市や北広島市などと隣接し、原生林である野幌森林公園や石狩川が流れているなど自然環境豊かなところです。道内のなかでは温暖な地域に属し、夏はやや暑く、冬はもっとも寒い時期で-10℃程ですが、四季を通じて日本海から太平洋に向け風が強いのが特徴です。

当牧場は宅地開発や高速道路建設の影響を受け、現在の地で営農するまでに3回の移転をしてきました。以前は現在厚別公園競技場となっている場所で営農していたそうです。

小林紀彦さん(写真1)は3代目の経営者であり、耕作面積は135haという広大な土地でグラスサイレージ78ha、牧草15ha、デントコーン42haで良質な飼



料を作ることに励んでいます。昨年20頭ダブルのパーラーが完成し、総頭数373頭、うち181頭を4人で搾乳を行っています(写真2)。今後の目標として、5年を目途に搾乳頭数を300頭に増やし、出荷乳量3,000tを目指していきたいと、力強く目標を話して頂きました。

当団では、平成13年に種雄牛H3262 マラトーン マスコットアテイダスの2ndクロップ娘牛12頭を並べて撮影し、当団のPRカレンダー(平成14年版)等で大々的に使用させていただいたので、記憶にある方も多数いらっしゃると思います(写真3)。



地域環境と 住民に配慮して

現在江別市西野幌の野幌森林公園に隣接する所で経営を行っている当牧場は、学校施設や住宅地などと非常に近い位置にあり、訪問した時にはバイオガスプラントの建設中でした。バイオガスプラントとはバイオマス資源である牛のふん尿をバイオガスエネルギーへ転換する施設で、ふん尿をメタン発酵させて出てくるバイオガスを使い、当面は温水に変換し利用するということでした。このプラントの建設に至った大きな要因は、ふん尿から発生する悪臭に対し地域住民から苦情がきていて、少しでも臭いを軽減させる為にプラント建設に至ったと話されていまし

た。現在もこの臭いの問題についてはすごく悩まれているそうです。建設中のバイオガスプラント稼働予定は平成23年12月末とのことでした。

また、使用する水は井戸水を巨大なる過装置で(写真4)ろ過しており、利用した水(パーラー排水)はバクテリアやミズ等が生息する浄化装置(写真5)に移され、きれいな水に濾過され自然へと戻しているそうです。

アイオンについて

当牧場では同じ江別市の中田牧場産JP3H53584ミツドフィールド CCM アイオンをデビュー当初から使用しており、サイズがあり、深みとフレームのしっかりした牛が多いと好評でした。一番初めに生まれたローマンヒル ビューティープリピュア(写真6)が2011北海道ホルスタイン ウィンター フェア第2部の第5位とショウリングで活躍しております。8月時点で20頭ほど雌が生まれていました、このあとも続々と生まれ、最終的には40頭ぐらいが牧場で活躍する予定とのことでした。また、訪問させて頂いた時には、アイオンのレッドの娘牛(写真7)も誕生しておりました。

現在、石狩ホルスタイン改良同志



最後に

今回お忙しい中、牧場を丁寧に案内、説明をしていただき有難うございました。地域住民への配慮をしながら経営を行っている旨を伺うことで、都市近郊型酪農経営について色々と学ぶことができました。

有限会社小林牧場の今後ますますのご発展を祈念するとともに、深くお礼申し上げます。

(道央広域事業所 中村 仁)



共進会に魅せられて ～上富良野町 篠原牧場～



はじめに

去年の9月11日に十勝管内音更町で5年振りに開催された第15回北海道総合畜産共進会で、上川管内上富良野町の篠原弘牧場出品牛『ふくひら号』(平茂勝×安福165の9)が第7部経産で見事1等1席を獲得しました。

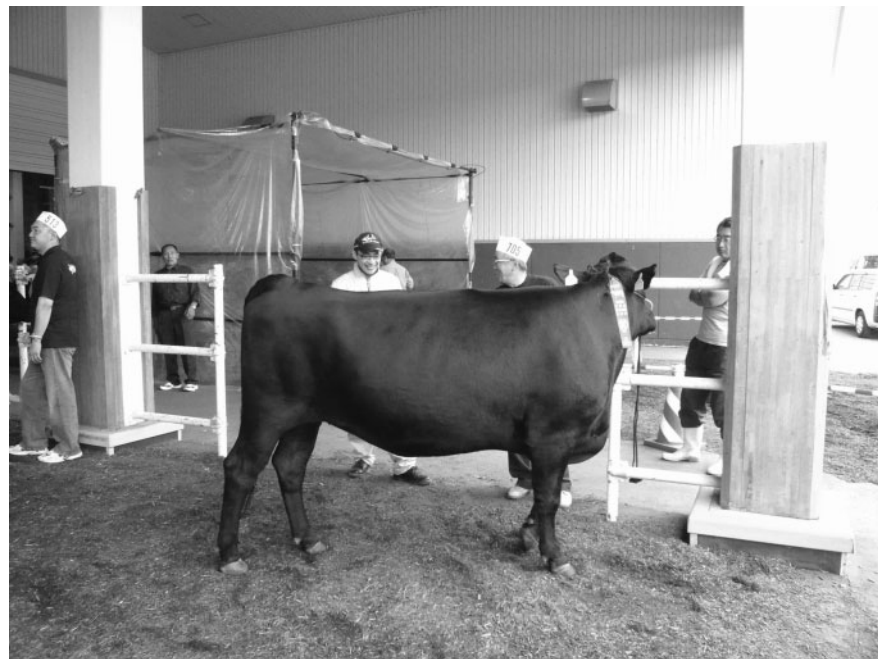
今回は毎年のように共進会で活躍されている篠原さんに共進会に対する思いを中心にお話を伺いましたのでご紹介させていただきます。

牧場概要

上富良野町は北海道のほぼ中央部にあり、年間400万人の観光客



取材時の篠原さん。共進会とは異なり、にこやかな表情で答えて頂きました。



最高位決定戦に向かう『ふくひら号』

が訪れるふらの地域(上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町)の一角を担う町です。

今から100年以上も前に三重県から入植した父富一郎さんがこの地で2～3頭の搾乳牛を飼い始めたのがきっかけで、現在2代目となる弘さんはホルスタイン種140頭(うち搾乳牛90頭)、黒毛和種40頭(うち繁殖牛20頭)を飼養しており、妻の幸子さんと息子の幸雄さんの3人でそれぞれ担当を分けて作業されております。もちろん弘さんは和牛担当だそうです。また年間約20頭の素牛を市場に出荷している他、受精卵技術も積

極的に活用しており、現在はホルスタイン初妊牛全てに受精卵を移植しているとのこと、今後年間出荷の素牛はかなり増えていきそうな状況です。

和牛導入のきっかけ

約40年前、当時の上富良野町農協(現ふらの農協)の事業の1つであった仔返し制度を利用して九州から繁殖雌牛を1頭導入したのが始まりです。もともと町内で昔から和牛を飼っていた人はいたそうですが、篠原さんのような酪農家

が和牛導入を進めるきっかけとなったのはこの制度の影響が大きかったそうです。平成2年には岐阜県から全盛期にあった『安福』産子を2頭導入、その産子が素牛市場で高値取引されるなど経営的にかなりの貢献をしてくれたそうですが、現在の牛群には残念ながら残っておりません。これには篠原さんの進める改良方針である、〈牛を大きくする〉が影響しており、どうしても『安福』をくぐった牛は『大きくならず、牛群に残りにくい』そうです。また現在残っている牛の血統には、ほとんどの牛に『平茂勝』が入っている状況です。『和牛は乳を出さない分、1年1産が基本』と篠原さんは考えており、繁殖成績を良くしようとミネラル補給など飼養管理に工夫されておりました。

共進会に対する思い

そもそもホルスタインの共進会の審査員も経験したほど共進会には熱心に取り組まれていた篠原さんですが、和牛の共進会を本格的に始めたのは平成17年からでした。平成17,18年の上川管内総合畜産共進会において、去年の北海道総合畜産共進会第7部の1等1席『ふくひら号』の母である『いとふく号』(安福165の9×糸福)で最高位を獲得、平成20年には当時まだ未經産であった『ふくひら号』で最高位を獲得するなど毎年のように好成績を残しております。共進会に出せる牛の見極め方を尋ねたところ『5ヶ月齢くらいまで育った牛を、系統など先入観を持たずに見ます。まず第1に品位、その次に体の伸びや幅



第7部経産での記念撮影。

があるかどうか」とおっしゃってました。『ふくひら号』についても品位と伸びが抜群に良かったそうです。

『金ばかりかかって金にならない共進会は趣味』と笑顔でおっしゃる篠原さんですが、『牛を見る目を養うには共進会が一番いい』と真剣な表情で話された時に共進会に対する篠原さんの思いが伝わってきました。

現在『ふくひら号』の体格審査得点は82.9点で篠原牧場内にいる牛では最も得点が高い牛ですが、『最近ようやく牛の作り方が分かってきた。84点以上の牛を作るのが目標だし、作れる!!』と力強くおっしゃっておりました。

今後の目標

今後の目標を尋ねたところ、実は全道共進会の1等1席が目標だったそうです。しかし去年の北海道総合畜産共進会でその目標を達成してしまったので、『次は全道共進会の最高位』と目標を上方修正されておりました。

最後に、今後の篠原さんの益々のご活躍を祈念すると共に、お忙しいところ取材を快くお受けくださいましたことに深く感謝申し上げます。

(道北事業所 齋藤哲也)

【お詫びと訂正】

前号サイア(391号)の記事「現地だより(乳牛)」(3ページ)の鈴木牧場娘牛の紹介で間違いがありましたので、お詫び申し上げ訂正いたします。

⑥スミーデル ブルー ウオツカ ETのドナー

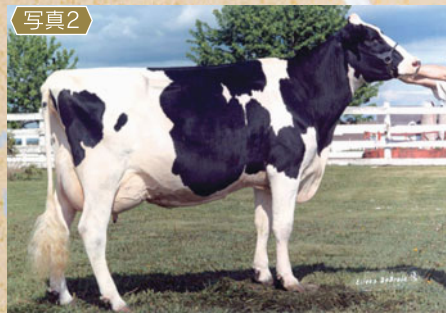
誤: E0 シーマーズ アシユラインズ エンジェル ET (父ゴールドウイン、祖父チャンピオン)
正: E0 シーマーズ アシユラインズ エンジェル ET (父**ストーマテイツク**、祖父**アンコール**)

連載 注目のカウファミリー

第4回 ホイツターファームス リードメイ ET



写真1
ホイツターファームス リードメイ ET



今回紹介するカウファミリーは、現在アメリカやカナダで活躍中のホイツターファームス リードメイファミリーです。リードメイファミリーは、雄大なフレームと乳用強健性を併せ持ち、強靱な肢蹄と付着強い乳器に定評があり、近年の長命連産や耐久性を重視する改良にも適応していることで高い評価を受けており、いまだ人気不衰なファミリーです。また、当団種雄牛 JP3H53622 フォレスト フェアリー エムトット オーマン ET を輩出したファミリーでもあります。

リードメイは、1991年8月にアメリカ・マサチューセッツ州で生まれ、6世代VG・EXが続く深い血統より輩出されました。

母レイマウ ビースター モニカ ET は2歳最高のVG-89点を獲得した乳器と乳用強健性に突出したブラックスターの娘牛でした。母同様にリードメイも2歳時にVG-89点を獲得し、雄大なフレーム・正確な肢蹄・付着強くパワフルな乳房は、見た人誰もが記憶に残るリードマンを代表する娘牛と言われております。後に、この親子はウオーレーガン牧場に売買されました。晩年には、9歳でEX-95点を獲得、357日M18,725kg F890 4.8% P618 3.3%の能力を記録しています。

今日、このファミリーから大成しているのは2系統に分かれ、1つはリードメイにベルウッドを交配したウオーレーガンメイベル ET EX-91【写真2】で、メイベルのダーハム娘牛【写真3】はモーニングビュー牧場に売買され、当牧場でファミリーが繁栄しております。代表牛はモーニングビュー SHTL ルーシー ET EX-90【写真5】で、機能的体型と高能力を發揮し2011年12月評価成績で全米第84位にランキングされています。また、異父兄妹

の種雄牛モーニングビュー レビは現在TPI第2位にランキングされています。

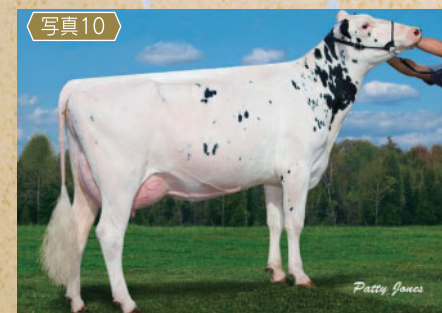
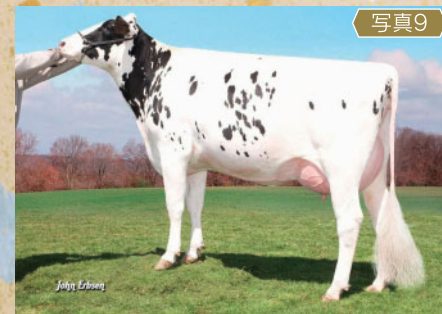
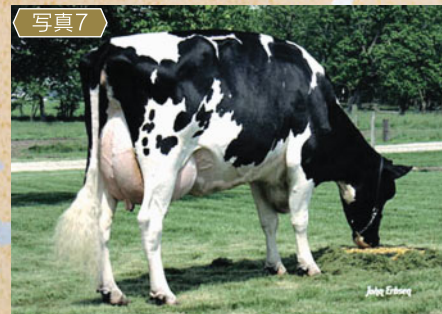
もう1つの系統は、リードメイにルドルフを交配したウオーレーガンルドルフ エリーメイ ET EX-90【写真6】で、彼女のエムトットの娘エムトット エリー【写真7】は当団のエムオーマンを始め、北米種雄牛のオットーやエイトなどを輩出した母としても著名であり、全兄妹のエリータ【写真8】は元全米第1位になるオーマンを代表する娘牛で、更にシヨツテルによる娘牛エミリアン【写真9】は母エリータを超える体型と能力を發揮し、2009年8月評価まで全米第1位にランキングされていました。

現在、このファミリーで最も注目されているのは、トラミルダ N バクスター エミリー ET VG-85【写真11】で、母はエミリアンと全姉妹になるエベット【写真10】です。エミリーは、ファミリーの特徴である優れた乳用強健性と付着強い乳器を継承しており、娘や息子たちのジェノミック評価は極めて高く、世界中の授精所が大注目している牛です。2011年11月に行われたカナダのジェノミックパワーセールでは、エミリー本牛がセールに登場し、3番目の高値C\$157,000で売買されました。

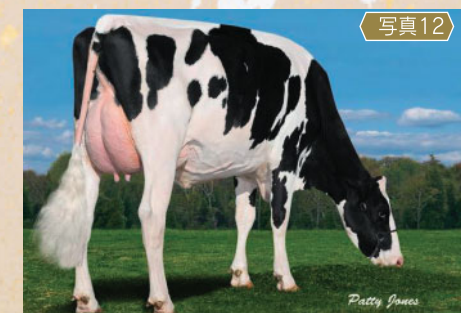
リードメイファミリーは好体型・高能力に加え、今日、世界中が求めている長命連産や耐久性を併せ持つ子孫を輩出しているファミリーであるため、高く評価されております。今後も、このファミリーに更なる期待、そして注目が集まることと思われま。

(改良部 伊藤 克美)

系統図



- ♀レイマウ ビースター モニカ ET VG-89 (♂ブラックスター)
- ♀ホイツターファームス リードメイ ET EX-95 (♂リードマン) 【写真1】
- ♀ウオーレーガンメイベル ET EX-91 (♂ベルウッド) 【写真2】
- ♀クロケットエーカーズ DRHM メイ ET VG-87 (♂ダーハム) 【写真3】
- ♀モーニングビュー MRTY マテイ ET VG-88 (♂モーテイ)
- ♀モーニングビュー MRTY マヤ ET EX-92 (♂モーテイ)
- ♀モーニングビュー マスコール ミニ ET VG-85 (♂マスコール)
- ♀モーニングビュー CHMPN マーサ ET EX-92 (♂チャンピオン)
- ♀モーニングビュー SHTLE マテイリン EX-92 (♂シヨツテル) 【写真4】
- ♀モーニングビュー スーパー エリー ET (♂スーパー)
- ♀モーニングビュー FNLY ミツキー ET EX-90 (♂フィンリー)
- ♀モーニングビュー シヨツテル マウイ ET VG-87 (♂シヨツテル)
- ♂モーニングビュー レジエンド ET (♂オーマン)
- ♀モーニングビュー オーマン リンジー ET VG-86 (♂オーマン)
- ♀モーニングビュー オーマン リビイ ET VG-86 (♂オーマン)
- ♀モーニングビュー SHTL ルーシー ET EX-90 (♂シヨツテル) 【写真5】
- ♂モーニングビュー レビ (♂バツクアイ)
- ♀ストックランド スーザン マーマックス メー ET (♂マーマックス)
- ♀ノースドリーム マーマックス メー ET (♂マーマックス)
- ♀ウオーレーガンルドルフ エリーメイ ET EX-90 (♂ルドルフ) 【写真6】
- ♀クロケットエーカーズエムトットエリー ET EX-90 (♂エムトット) 【写真7】
- ♀クロケットエーカーズエメラルド ET VG-85 (♂フィンリー)
- ♀クロケットエーカーズ FV エステイローダ ET (♂ポルトン)
- ♀スタントンズ PS エリカ ET (♂シヨツテル)
- ♂クロケットエーカーズエイト ET (♂オーマン)
- ♀クロケットエーカーズエコー ET VG-85 (♂アウトサイド)
- ♀スタントンズ PS エデン ET (♂シヨツテル)
- ♂クロケットエーカーズオット ET (♂オーマン)
- ♀クロケットエーカーズエリータ ET VG-87 (♂オーマン) 【写真8】
- ♀ワバツシュウエイエミリアン ET VG-88 (♂シヨツテル) 【写真9】
- ♀ワバツシュウエイボル エリザベス ET VG-86 (♂ポルトン)
- ♀エムエスエミリアンアレックスエメリー ET (♂アレキサンダー)
- ♀ワバツシュウエイエベット ET VG-86 (♂シヨツテル) 【写真10】
- ♀トラミルダ N バクスターエミリー ET VG-85 (♂バクスター) 【写真11】
- ♀ワバツシュウエイポルトンエメリー ET VG-86 (♂ポルトン) 【写真12】
- ♀ワバツシュウエイポルトンEM ET VG-85 (♂ポルトン)
- ♀クロケットエーカーズミリオンエリータ A ET (♂ミリオン)
- ♀クロケットエーカーズミリオンエリータ B ET (♂ミリオン)
- ♂フォレストフェアリーエムトットオーマン ET (♂オーマン) JP3H53622
- ♀WHG エリーエムテイーフィンリー ET EX-90 (♂フィンリー)
- ♀WHG エリーエムテイーフィンリーセカンド ET (♂フィンリー)



交配相談サービス 実施農家レポート

ぎやくし 芽室町：瘡師牧場 ～牛群の未来予想図を描いています～

ジェネティクス北海道は、2009年より交配相談サービスを提供させていただいております。本サービスは、近交係数の上昇を抑制しながら、改良目標に沿った種雄牛が3頭推奨されることが特徴です。

今回は、昨年より交配相談を活用して頂いている芽室町の瘡師牧場の授精担当で、経営主の聖一さんの奥様の真由美さんに、交配相談を始めるきっかけや牛群の未来予想図を伺いましたのでご紹介します。

ゲートボール発祥の地として知られる芽室町は、北海道十勝管内の中心に位置し、日本有数の晴天率(平成8年度から10年間平均48%)を誇ります。肥沃な大地と気象条件に恵まれ、畑作を中心とした大規模経営が行われており、中でもスイートコーンの作付面積と収穫量は全国1位を誇っています。

(芽室町HP参照) <http://www.memuro.net>



① 牧場の概況について 教えてください。

飼養頭数は65頭、うち搾乳頭数が55頭です。タイストール式牛舎で飼養しています。9月の検定成績によれば1頭あたりの検定乳量は34.9kg/日、305日乳量は10,400kgで平均産次数は2.8産です。

② ジェネティクス北海道の 交配相談サービスを どのようにして 知りましたか？

十勝北見事業所の担当者からの紹介で交配相談サービス

を知り、2010年9月より利用しています。

③ 交配相談を利用して どのような感想を 持ちましたか？

『瘡師牧場では、改良したい形質を第1形質が肢蹄、第2形質が乳脂率で設定し、農場独自の選定種雄牛の中から推奨種雄牛を抽出しています。』

うちの牧場は、飼料の生産基盤が限られているためにそれらを有効に活用しなければいけません。そのために、飼養管理と同時に遺伝改良の面か

らも乳脂率を高くするために第2形質を乳脂率にしています。交配相談を利用して見た感想は、改良したい形質に合わせた3頭の推奨種雄牛が表示される点が良いと思います。交配相談を利用する以前は、近交係数の急上昇を抑制する種雄牛が全て表示される近交回避プログラムを利用していました。授精の際は、交配相談の結果に基づいて授精に利用する種雄牛を選択しています。

『北海道のホルスタイン雌牛の近交係数は、5.48%と算出されています。当団の交配

相談は、ホルスタイン農協の血統登録情報を利用しているために正確な近交係数を知ることができます。さらに次世代の近交係数の急上昇を抑制する種雄牛を推奨しています』

④ 今後の牛群改良の 方向性について 教えてください。

管理しやすい牛群に改良したいです。具体的には、体のサイズが大きすぎずに均一性がとれ、さらに限られた飼料の生産基盤を有効に活用出来る牛群に改良してみたいです。近交係数については急な上昇を避け、現状の値(5.04%)を維持していけたら良いと思います。

⑤ 交配相談サービス について一言

交配相談を利用する前と後でどれくらい牛群に変化が表れたのかを知りたいです。

今回は、瘡師牧場で交配相談サービスを利用するきっかけや、今後の改良の方向性について、とても整理整頓の行き届いた清潔な牛舎でお話を伺うことが出来ました。さらに授精担当の真由美さんが楽

しそうにお話しされていたことが印象に残りました。真由美さんが授精担当になって4年が経ちましたが、牛群の改良トレンドをグラフで見たと、着実に牛群の改良が進んでいることがわかりました。今後も継続して交配相談を利用され、牛群改良の変化を見ていただくことができたらいいと感じました。

最後に、『瘡師(ぎやくし)』という名字は大変珍しく日本では70数人しか名乗る人がいないそうです。由来は『瘡(おこり)』というマラリアの意味で、先祖がマラリア患者を治療するために祈った呪術師か医

師らしく、その名残が名字になったと伺いました。

大変お忙しい中、今回の取材にご協力頂いた瘡師牧場のみなさんに感謝いたします。交配相談の効果が牛群に表れるには長い時間を要するため、継続することが大変重要となります。今回頂きました貴重なご意見とご感想を活かし、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えています。御協力ありがとうございました。

(改良情報課 大林 敏朗)



牛舎風景



ジェネティクス北海道交配相談サービス
理想とする牛群づくりを
お手伝いいたします！ **北海道限定**

▶▶ 詳しくはお近くの事業所、または改良部までご連絡ください。



第67回 北海道家畜人工授精技術研修大会 -優秀賞-

乳牛繁殖カレンダーの有効活用

～繁殖成績向上への取り組み～

○**廣田 光則氏・田中 信氏・田中 暁氏**
(富良野地区農業共済組合 改良課)

はじめに

日々の牛群繁殖管理は、酪農家や技術者が色々な方法を模索し、自分に合ったものを利用しています。今回は繁殖カレンダーを用い、有効な活用方法を検討して実践することで繁殖成績を改善が見られるかを調査しました。【図1】

材料および方法

ジェネティクス北海道が配布している『ホルスタイン種繁殖カレンダー(21日周期)』を使用しました。【図2】

授精日の記入の他に、分娩日、発情徴候を確認した日、出血した日など次回の発情発見につながる情報を記入しました。【図3】

日々の作業でカレンダーを見るときは、前回の周期から前後数日の授精、出血や発情徴候の記録を確認し、該当する牛を特に注意しながら発情発見を行いました。妊娠の確認は授精日後2周期を目安に行いました。不受胎や分娩日から3周期頃を目安に発情発見出来できず授精にならなかった牛は、獣医師・授精師にその後の対応を相談しました。【図4】

●調査対象

酪農家1戸 飼養形態:タイスツール式
経産81頭 平均乳量 10,500kg

●調査期間

カレンダー未使用期間:
平成18年10月～20年12月末
カレンダー使用期間:
平成21年1月～23年4月末

●調査頭数

[カレンダー未使用期間の頭数および使用期間の頭数]

- 1産(38頭および52頭)
- 2産(37頭および36頭)
- 3産(32頭および20頭)

図1 繁殖管理

発情発見が上手に出来ない...

- 受胎率の低下
 - 授精回数(精液代)
 - 分娩間隔etc...
- 生産計画が立たない
 - 出荷乳量が安定しない
 - 牛群の更新 etc...

図2

ホルスタイン種繁殖カレンダー

横1列が21日になっている

発情周期を見るのに便利

図3 カレンダーに記入するとき

記入例

青 分娩日
赤 出血
黒 徴候確認
授精したものは○で囲む

← 授精日
← 1周期(21日目)
← 2周期(42日目)

次回の発情発見につながる情報を記録する

図4 カレンダーを見るとき

分娩後の無発情

妊娠確認

- 授精
- 発情徴候
- 出血

※必要に応じて獣医師 授精師に相談

結果

各項目の値は、カレンダー未使用期間 vs. 使用期間として表記しました。

① 空胎日数【図5】

1産	2産	3産
142.6 vs. 124.4	169.5 vs. 141.1	171.8 vs. 145.9

すべての産次において使用期間で短くなる傾向が見られ、2産では有意に短くなりました(p<0.05)。

② 分娩後の初回授精日数【図6】

1産	2産	3産
86.5 vs. 102.4	88.9 vs. 115.7	84.8 vs. 110.0

すべての産次において使用期間で有意に遅くなりました(p<0.05)。

③ 初回授精の受胎率【図7】

1産	2産	3産
36.8 vs. 69.2	21.6 vs. 47.2	25.0 vs. 35.0

すべての産次において使用期間で高くなる傾向が見られ、1、2産では有意(p<0.05)に高くなりました。

④ 初回授精から受胎までの日数【図8】

1産	2産	3産
56.1 vs. 22.0	80.5 vs. 25.4	87.0 vs. 35.9

すべての産次において使用期間で有意に短くなりました(p<0.05)。

⑤ 授精回数【図9】

1産	2産	3産
2.3 vs. 1.7	3.0 vs. 1.7	3.1 vs. 2.0

すべての産次において使用期間で有意に少なくなりました(p<0.05)。

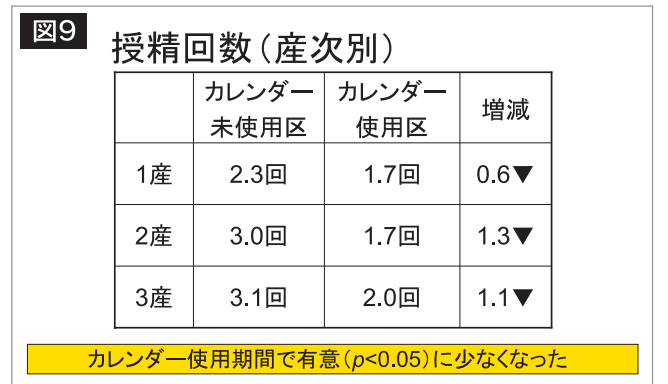
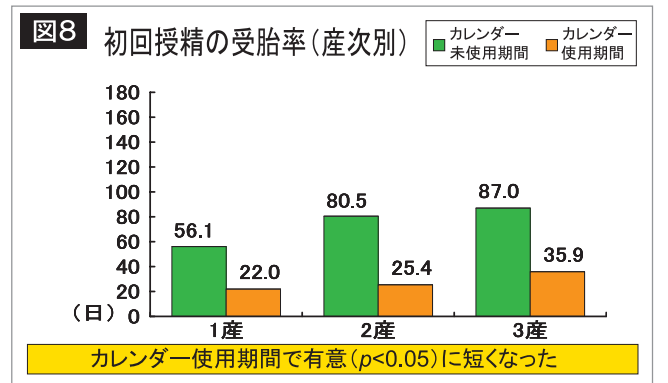
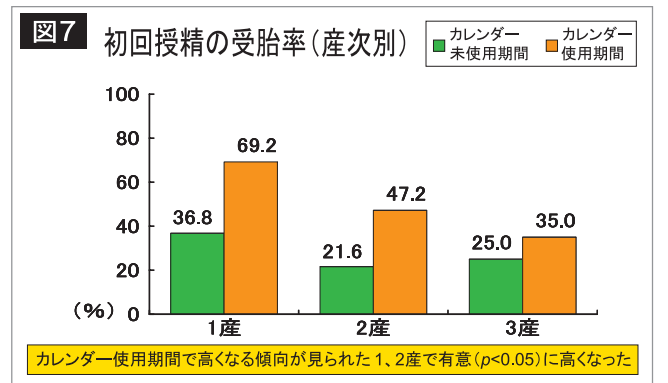
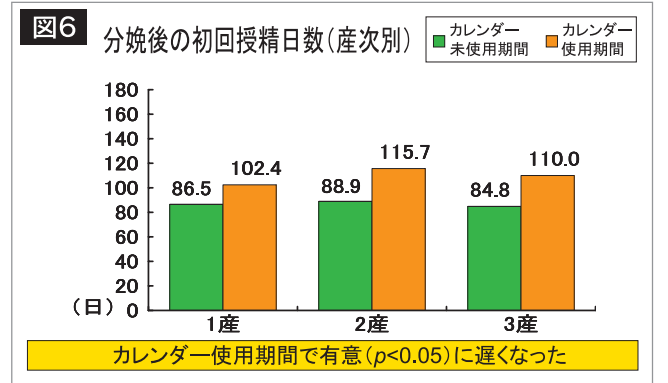
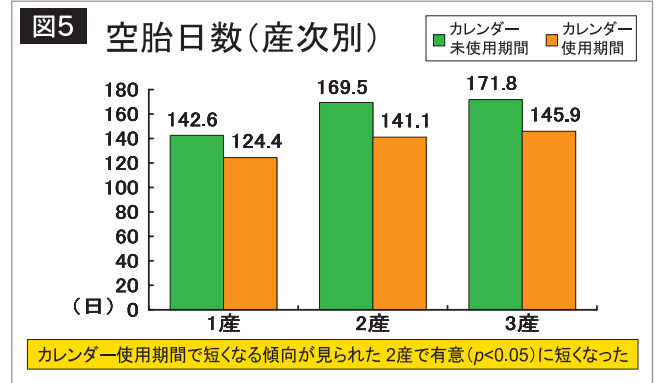
まとめ

繁殖カレンダーは、視覚的に情報を得ることが出来るという利点があり、牛舎に貼ってあることで技術者が酪農家と一緒に授精記録を確認し情報を共有する際にも役立てることが出来ます。

日々の発情観察はカレンダーを見ながら対象牛を重点的に観察し、発情周期をつかみ、良好な発情を見つけ、授精後の次回の周期を逃さぬ様注意しました。その結果、繁殖成績の向上に期待できることが示唆されました。

畜主に使用してからの印象を聞くと「年間の出荷乳量が安定し生産計画を立てられるようになり、繁殖管理を通して以前より牛舎全体のことを考えるようになった」と、畜主の意識にも大きな変化がみられました。また、今回の課題として、分娩後早期の発情が微弱なために良好な発情が発見出来ないことが初回授精日数の遅延につながる原因の1つと考え、乾乳育成の管理を改善するという目標を立てました。

今後も畜主と協力し、一層の成績向上を計っていきたいと思います。



繁殖カレンダーがもたらしたものは…

繁殖成績の向上だけではありません!!

第67回北海道家畜人工授精技術研修大会(H23.10.20~21)で、上川支部から発表された演題「乳牛繁殖カレンダーの有効活用 ~繁殖成績向上への取り組み~」が優秀賞を獲得し、今年2月15日に開催する「第40回 家畜人工授精優良技術発表全国大会」で発表することになりました。当団が作成し配布している繁殖カレンダーを利用した取り組みということもあり、発表者である富良野地区農業共済組合の人工授精師廣田光則さんに、なぜこのテーマにしたかを尋ねてみることにしました。

身長190cm近い廣田さんは、大雑把そうに見える大男ですが、今回のテーマ選びのきっかけや実際の活用方法を伺っているうちに、外見イメージと違い細かなところにも工夫を凝らす技術屋の性格が見えてきました。

廣田さんのお話によりますと、この取り組みの舞台となった牧場は、父親から数年前に経営を任された30代前半の息子が経営主で、父親の代では繁殖カレンダーを使用していませんでしたが、彼は今回の調査に協力し3年前から使い始めました。技術研修大会のプレゼンでは、「空胎日数」や「初回授精の受胎率」、そして「初回授精から受胎までの日数」および「授精回数」などの調査項目において、全てに改善が見られたという結果が報告されました。しかし私は、お話を伺っているうちに、繁殖カレンダーが牛群管理に役に立ったという結果以上に、その若い牧場主の身に起きた変化に驚きと喜びを感じました!

繁殖カレンダーにそれぞれ違う意味を持つ数種類の色で牛の番号を記録し、数周期にわたって確認と観測を継続することによって、発情徴候が曖昧で授精タイミングを逃しやすい牛たちの発情判断を裏づける情報を得ることになり、見逃しが減ってきました。さらに日頃の飼養管理に注意を払いながら、良好なボディコンディション作りに励んだ結果、授精のタイミングをより適確に把握できるようになりました。カレンダー記録で発情が明確に判断できた牛に、自信を持って授精を依頼することができ、今まで授精師さんに丸投げしていた種雄牛選びも、自分自身が期待する改良点に合いそうな種雄牛を選択できるようになりました。また、健康で発情発見しやすい牛を増やすために、育成牛か



左から 廣田 光則 氏(発表者)、田中 暁 氏

らの栄養バランスや飼育環境に気を使うようになり、次第に牛群全体の改善に結び付く結果が見られつつあります。そうした中、牧場主の意欲がどんどん高まってきた、酪農家として経営に対する考え方に変化が現れてきたのではないのでしょうか!

3年近く続いた今回の調査を終えて、今年10月に、彼はついに初めてワールド デーリィ エキスポを見学するため渡米しました。酪農の世界は広い!そして牛づくりは楽しい!きっと3年前より、今の彼はそう感じていることでしょう。

続けて廣田さんにお話を伺うと、繁殖台帳やパソコン、または自分独自の方法で発情を記録する牧場が多く、繁殖カレンダーを利用しているところは、まだわずか一割前後という印象です。しかし繁殖カレンダーは、使い方が簡単で、牛舎に貼っていればいつでもすぐ見えます。何より一目瞭然というメリットがあり、さらに色分けの工夫を加えると(P12、発表スライド図3をご参照)、記入作業も確認の際も便利で、牧場主および現場技術者にとって効率良く利用できます。“初心者”でもすぐ上手に活用できるはず。 「とりわけ中小規模の牧場と、従来のやり方に拘らず新しいことに挑戦したい若い酪農家にお勧めです!」と、熱く語ってくれました。

牛の発情徴候がだんだん判り難くなってきて、受胎率が年々低下しつつある今こそ、大事な牛たちの繁殖障害で悩まされた牧場にこそ、その改善策と支援策として繁殖カレンダーを是非利用して頂きたいと思いました。

最後に、今回の協力者のような若い酪農家および廣田さんのような若い現場技術者のご活躍を期待しながら、当団として応援の気持ちで繁殖カレンダーを、今後もご提供し続けます。

(業務部 唐 紅燾)

当団が配布している「乳・肉用牛繁殖カレンダー」にご興味のある方は、お近くの事業所へお問合せください。

平成23年度後期 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に(社)全国和牛登録協会が実施する和牛産肉能力検定現場後代検定法(以下:現場後代検定)により年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。平成23年度後期分4頭の現場後代検定実施種雄牛を2回にわたり紹介をさせていただきます。

H黒-212 桜大地

【サクラダイチ】

黒原 5412
平成22年3月7日生 得点84.5点

勝忠平	平茂勝	第20平茂
	うめ2	忠福
さとみ	福桜(宮崎)	隆桜
	よねふく100	安福165の9



母「さとみ」【福桜(宮崎)】は、2産目の去勢牛【父:平茂勝】が、格付A-5、枝肉重量467kg、ロース芯面積67cm²、BMS No.11、4産目の去勢牛【父:百合茂】で、格付A-5、枝肉重量508kg、ロース芯面積76cm²、BMS No.10と非常に産肉能力に優れた繁殖牛で、北海道内における脂肪交雑の育種価順位では13位【平成20年4月評価】を記録している高育種価牛であります。

「桜大地」は、高い産肉能力を持つ「さとみ」に一世を風靡した気高系種雄牛「平茂勝」の代表的後継牛「勝忠平」を交配する事で体積雄大な北海道らしい質量兼備の種雄牛として期待されています。

H黒-214 安幸福

【ヤスユキフク】

黒原 5411
平成22年4月1日生 得点83.7点

安糸福	安福165の9	安福(岐阜)
	みちふく	糸福(大分)
みつゆき	美津福	谷福土井
	よしみ	金幸



母「みつゆき」は、初産の去勢牛【父:安糸福】が、格付A-5、枝肉重量521.0kg、ロース芯面積77cm²、ばら厚9.3cm、BMS No.12を記録している産肉能力に優れた繁殖牛で、北海道内における脂肪交雑の育種価順位では52位【平成21年4月評価】を記録している高育種価牛でもあります。

また、祖母「よしみ」の産子2頭もA-5を記録しており親子2代に渡って高い産肉能力を持つ繁殖牛です。「安幸福」は兄により実証されている交配【「安糸福」×「美津福」】を再現することにより産肉能力、特に脂肪交雑の改良に期待される種雄牛です。